



1月19日(月)霞が関シーボニアメンズクラブで技能労働者を含む移民問題の勉強会が開かれた。当財団の石坂代表理事がかねて強い関心を払ってきた問題でもあり、会場は当財団が提供。國松孝次元駐スイス大使からスイスにおける外国人移住者の取り扱いなどお聞きした。移民問題で全国を講演されている日本国際交流センターの毛受執行理事から日本の実情と実態、同財団プログラムアソシエート李恵珍さんから最近発表した「技能外国人安定雇用制度」創設の提言について説明を受けた。グローバル化の時代にわが国だけ事実上の鎖国を続けるのはいかがかという意見、移民という言葉が誤解を招く一因との意見などもあり、さらなる勉強を重ねることとなった。

